

にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金

活動状況報告書

| | |
|---------|--|
| 団 体 名 | 特定非営利活動法人 まちづくり学校 |
| 補助金決定額 | 200,000 円 |
| 活 動 内 容 | <p>小学生または小学生の親子を対象に、白根地区でまちあるきガイドを受けながらまちの魅力を見つけ出す「まちたんけん」と、見つけた魅力を多くの人に伝える「新聞づくり」を行った。</p> <p>昨年同様、まちあるきボランティアガイドの「しろね大風タウンガイド」と共に企画運営を行った。</p> <p>今年は小学1年生～5年生の子どもたちが参加して、区内では味方小と小林小から参加があり、南区内外合わせて18名の参加があった。</p> <p>しろね大風タウンガイドは新しいメンバーが加わり、経験ある一期生のアドバイスの元、ルートや子ども向けの見所を検討。</p> <p>訪問先に協力を打診し、事前取材を行った。</p> <p>いかに子ども達の興味を惹きつける体験や話題を提供してもらうかを追求し、当日の段取りを組むなど企画づくりから協力いただいた。</p> <p>まちたんけんでは、ルート上の見せたい場所などにあらかじめ隠しておいたカードを発見してもらったり、クイズ形式のミッションを解くためガイドや訪問先の店主に自ら質問をして答えを導き出すようにした。</p> <p>低学年でも取り組みやすいように、見所を絵で表したビンゴカードも用意するなどゲーム性を取り入れ、成長のレベルに合わせて自発的に観察し、まちの魅力に気づけるような工夫を行った。</p> <p>また、子ども達に馴染みのない昔の生活や、普段見る機会のない店の裏側など、人々の営みを通じてまちが成り立っていることに気づくようにした。</p> <p>まちあるき後は、まちの良さを人に伝える表現力を伸ばせるよう、気づいたことや感じたことを各自で新聞にまとめた。</p> <p>新聞づくりにおいても子ども達の自主性を大事にし、必要な場面にはスタッフが補助を行った。</p> |

| | |
|----------------------------|--|
| | <p>最後には一人一人が講師よりアドバイスを受け、新聞を並べ、お互いの作品を鑑賞した。</p> <p>開催後は、まちたんけんと新聞づくりの様子をレポートにまとめ、参加者や協力していただいた方々へ配付した。</p> |
| <p>南区（地域）の地域福祉に貢献できたこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段は車で通り過ぎてしまうようなまちの中にゆっくり入り込みまちの魅力に気づき学習ができたことで、まちへの愛着が生まれ、まちの担い手育成へつなげるきっかけができた。 ・ 区内外の子育て世代が交流でき、地域を超えた仲間づくりができたこと。また、商店街や地域のボランティアガイドの方々と交流することで地域とのつながりを強く感じることもできた。 ・ 「いろいろなものを見たり、知らなかったことがいっぱいあっておもしろかった。」「奥深い白根の魅力を再発見できた。」などの感想を多くいただいた。親子で一緒に地域に関わる楽しさに気付いたことで、まちへの興味関心を醸成することができた。 ・ 地域の方々に協力していただいたことで、自らのまちの歩みをふりかえり見直すこととなり、まちへの誇りを再認識することにつながった。 |
| <p>今後の課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 南区内外の小学1年生～5年生、中学生と幅広い参加があった。 <p>昨年よりも南区内からの参加も増えたが、全体に占める割合はまだ低い。日程や広報の方法など、南区内からの参加者を増やすことに努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前日からの悪天候と一店舗だけ先方の都合で急遽当日に訪問ができなくなり、たんけんルートを縮小した。 <p>事前の準備とガイドの段取りの良さで大きな問題や事故もなく実施できたが、安全かつスムーズな運営のために、今後も念入りの事前準備が必要と感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ しろね大風タウンガイドが小中学校の体験学習や行事などでも活躍できる場を増やせるように、今回の活動をPRに利用していただくなど、ガイドの会の運営と合わせて支援する。 |

資料1-2

平成29年度にいがた安心ささえ愛活動支援事業（南区）

地域ふれあい発見発信！ まちたんけん&新聞づくり

8月8日（火）in 新潟市南区白根

NPO法人 まちづくり学校





キョロキョロしながら歩いてみよう まちをよ〜く観察してみよう

しろね大風タウンガイドの皆さんに案内されて、さあ出発！
凧絵が描かれた自動販売機や「白根紙鳶合戦見聞記」（新潟市指定文化財）がある塚田邸など、あちこちに大風合戦のまちの息吹を感じます。よく見ると、斜めにせり出ている蔵も発見。どうしてかな？と思う気持ちも大切に。



創業は江戸時代 仕出し料理屋も営んでいた野澤鮮魚店さん お話は・・・野澤證治さん (のざわしょうじさん)

お店の中にある謎の穴は、昔使った雪室 (ゆきむろ) でした。中ノ口川から上がった魚を自転車やリヤカーで運ぶ時、冬の間にためた雪を氷の代わりに使っていたそうです。
 美しい輪島塗の漆器の数々も見せていただきました。自分の家で結婚式や法事などをする事が多かったので、料理を届けるだけでなく何十人分もの漆器も貸し出したのですね。



看板建築・連続して並ぶ町屋 こんなに貴重なものが残っているなんて

実は伝統的な建築物がたくさん残っています。11棟連続して並ぶ町屋や昭和6年の白根大火後に広まった看板建築の数々。よく見ると一階を隣の家と共有していたり、庇のデザインがおしゃれだったりと見どころがいっぱい。みの口屋さんのお店入り口を見上げると凧絵が。同じ絵柄が凧見橋にあります。



戦時中は疎開先だった 子どもたちとつながりの深い西永寺 お話は・・・住職 日野憲一さん

戦時中、疎開先として東京から子どもたちを受け入れていたお話をお聞きしました。食料不足でみんなで芋を植えたりイナゴを食べたりして生活していたそうです。小学生らしい文字で書かれたお礼のハガキや、東京へ戻って東京大空襲の犠牲になったお話は胸を打ち、考えさせられました。



歴史あり いいものに触れる心地よさ 白根の老舗割烹金長さん

創業は江戸時代末期。割烹料理の店として白根のまちを華やかに賑わせてきた歴史があります。落ち着いた風格の建物や、随所に施された細工や調度品も見事です。お昼に出していただいたおにぎりとお味噌汁、漬物と卵焼きがなんとも美味しくてみんな笑顔になりました。



歩いて発見したことや感じたこと どうやって伝える？

白根のことを知らない人にも分かりやすく伝えるには？体を使って「エア縄跳び」でイメージした後、講師の和田さんからポイントをアドバイスいただきました。写真を見て思い出し、レイアウトのコツを聞くうちに、だんだん書きたくなってきました。

